

狛江市公民館運営審議会答申（検討案）

市民センター改修後の中央公民館に新たに設置する  
ティーンズルームを活用した公民館事業等について

令和6年10月 日

狛江市公民館運営審議会

## 目次

第1章 はじめに.....	3
第2章 課題整理.....	4
1 ニーズ調査.....	4
(1) アンケート調査 .....	4
(2) 施設視察.....	7
2 見えてきた課題.....	7
(1) 運営体制について.....	7
(2) 関係機関との連携 .....	7
第3章 事業提案.....	8
1 ティーンズルームのコンセプト.....	8
2 施設・設備について.....	8
3 実施を検討する事業等.....	9
4 公民館運営審議会からの提言.....	9
検討過程等.....	10

## 第1章 はじめに

狛江市では、昭和52年に建てられた市民センターの老朽化等に伴う対応として、「もっと便利に」「つながる」「学びの中心」というキーワードを踏まえて市民センターを改修（リノベーション）します。

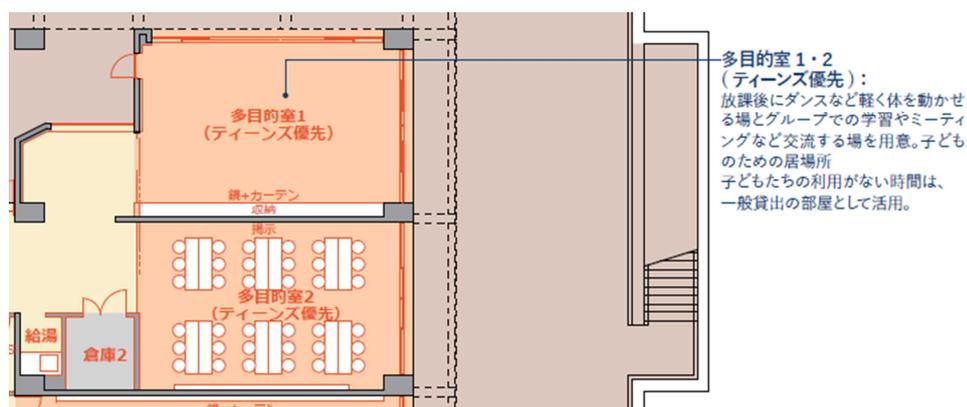
現在、公民館の多くの利用団体では、高齢のメンバーが多くなり、活動が縮小している団体も見られます。地域社会での社会教育を推進していくためには、若い世代も含めて、新たな層の利用を増やしていくことが課題となっています。

そこで、新しい中央公民館では、スタディコーナー、サウンドスタジオ、オープンテラス等新しい部屋・スペースを設置し、子育て世代や若年層などの利用を促し、多世代の交流の場として、多くの人に愛される公民館を目指した施設のリニューアルを進めていきます。

こうした中で、子どもや若者の居場所としての機能を充実させるため10代の子どもの利用を想定した「ティーンズルーム」を設けることとなり、令和5年11月28日に公民館長から「市民センター改修後の中央公民館に新たに設置するティーンズルームを活用した公民館事業等について」の諮問を受け公民館運営審議会で検討を行い、答申としてまとめました。

### ティーンズルームについて

ティーンズルームは改修後の市民センター地下1階に設けられます。ダンスなど軽く体を動かせる部屋（多目的室1）と学習・交流を促す部屋（多目的室2）の2つの部屋からなり、地域の中高生が仲間と安心して過ごし、好きなことが出来る場所として機能することを想定したものです。運営方法を工夫し、子どもたちが利用しない時間帯は一般団体等の利用を妨げないようにするなど、多様な用途で部屋を活用することも引き続き検討していきます。





※ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <https://textmining.userlocal.jp/> )  
 による分析 (ワードクラウド)。(スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさ  
 で図示。青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞・形容動詞、灰色が感動詞を表す。)

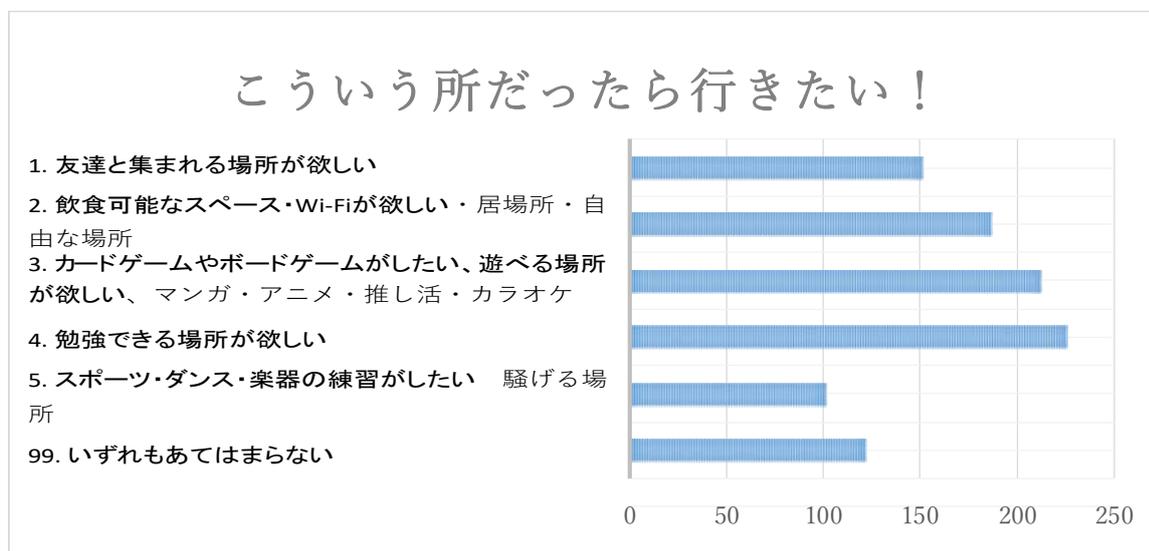
カテゴリー別件数 (重複有)

- ①勉強 : 226 件    ②スポーツ・運動 : 168 件    ③芸術・文化・趣味 : 426 件
- ④その他 : 161 件

内容等

- ・勉強できる場所が欲しいという声の中では、静かな自習室を求める声が7割、飲食や友人と話をしながら勉強できる部屋を求める声が3割程度あった。
- ・スポーツ・運動の内容として、多い方から順にダンス、バスケットボール、バレーボール、卓球等が挙がっていた。
- ・芸術・文化・趣味の内訳は、ゲーム 226 件、集まる場所・話せる場所が欲しい 106 件、推し活・鉄道模型等の趣味 59 件、バンド・カラオケ等の音楽 50 件、本・漫画・映画等 48 件であった。
- ・その他の意見は、Wi-Fi やお菓子バー・ドリンクバーの設置等、設備や備品を充実させてほしいという要望が大半を占めていた。

機能別件数 (重複有)



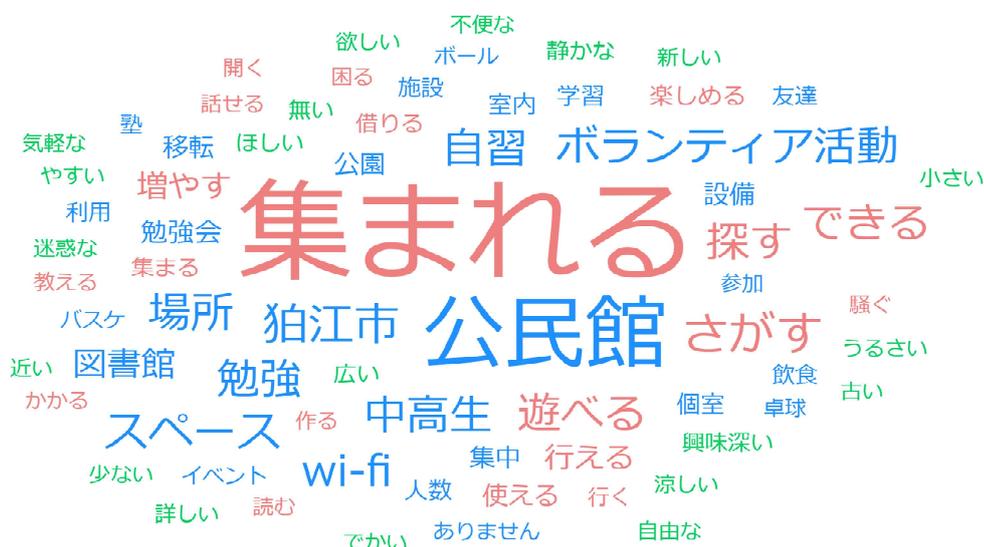
1. 友達と集まれる場所が欲しい	2. 飲食可能なスペース・Wi-Fiが欲しい・居場所・自由な場所	3. カードゲームやボードゲームがしたい、遊べる場所が欲しい、マンガ・アニメ・推し活・カラオケ	4. 勉強できる場所が欲しい	5. スポーツ・ダンス・楽器の練習がしたい 騒げる場所	99. いずれもあてはまらない
121	101	225	212	186	151

「カードゲームやボードゲームがしたい、遊べる場所が欲しい、マンガ・アニメ・推し活・カラオケ」「勉強できる場所」「飲食可能なスペース・Wi-Fi・居場所・自由な場所」「スポーツ・ダンス・楽器の練習がしたい、騒げる場所」「友達と集まれる場所」の順でニーズがあることが分かる。

※ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <https://textmining.userlocal.jp/> )  
によるアフターコーディング。

## 設問2

中高生スペースや公民館のこと、その他にも聞きたいことや困っていることなどがあれば何でもいいので教えてください。



集まれる、探す、できる、遊べるという言葉が見られる。ボランティア活動、自習場所、といったキーワードが見られる。

※ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <https://textmining.userlocal.jp/> )  
による分析 (ワードクラウド)

(主な回答)

- ・静かに自習できるところと騒げるところを分けてほしい。
- ・常識ある利用を促してほしい。
- ・他校、他学年の人との交流がしたい。
- ・公民館について (場所・開館日程・料金・イベント等) 知りたい。

- ・現状の設備に対して、中央公民館2階の椅子や机を増やして欲しい。
- ・中高生でも参加できるイベントを実施や中高生主催のイベントを企画してみたい。
- ・図書館や公園の整備をしっかりとしてほしい。

(審議会委員の意見)

- ・読書や勉強をする人とゲームをする人が同じ部屋で共存することは難しいのではないか。
- ・みんなで集まれる場所にニーズがあることが分かったと同時に、公民館についてあまり知られていない、興味を持たれていないということが分かった。

## (2) 施設視察

	武蔵野プレイス (青少年フロア)	文京区青少年プラザ b-lab
運営	指定管理 武蔵野文化生涯学習事業団	業務委託 NPO 法人カタリバ
対象	小学生、中学生以上満19歳以下 ※大人は利用不可	区内在住、在学の中学生高校生 ※グループ利用の場合は例外あり
事業内容	フリースペース	サークル活動
特徴	図書館や市民活動センターとの複合施設。駅前でアクセスが良くカフェがあるおしゃれな施設。	教育支援センター、児童発達支援センターと併設。近隣の大学より多くのボランティアスタッフが参加している。

(審議会委員の意見)

- ・安心して利用できるように、見守りスタッフや登録制などが必要であると感じた。
- ・ティーンズルーム以外の部屋を子どもが使う場合に、何らかの優遇措置があっても良い。
- ・ティーンズルームの活動内容は、利用する中高生が自分で決める形にするのが良い。

## 2 見えてきた課題

### (1) 利用状況の把握等について

利用者が気軽に使える雰囲気を保ちながら、利用登録制度やボランティア等を活用して、利用状況をどのように把握し、安心して使えるように管理していけるか。

### (2) 関係機関との連携

都立粕江高等学校や体育施設、児童館・児童センター、ひだまりセンター等の関係機関等と連携を図ることにより、可能な限り中高生のニーズに応えていくこと。

## 第3章 事業提案

### 1 ティーンズルームのコンセプト

- ・若者（中高生）が安心して主体的に好きな活動ができ、仲間と交流できる場
- ・若者（中高生）が何でも話ができる、家でも学校でもない居場所（サードプレイス）

（サードプレイスとは）

サードプレイスとは、Oldenburg（1989）が提唱した概念であり、家庭（第一の場）でも職場・学校（第二の場）でもない第三のインフォーマルな公共生活の場でとても居心地よい場所を意味します。

ターゲット

泊江市在住・在学・在勤の中高生世代

機能等

- （1）活動をするための場や機会の提供
  - ・利用者が主体的に活動できる場を無償で提供
  - ・自主的に好きな活動ができるサークルを立ち上げるためのサポート
  - ・利用者が企画したイベント等を実施する。
- （2）中高生のサポート、相談に応じる体制
  - ・気になること等をなんでも気軽に相談できる場を提供し、サポートできるようにする。
- （3）公民館団体等との連携
  - ・他の公民館利用団体や体育施設等の関係機関と連携し、協働イベントや活動を企画
- （4）保護者も安心できる施設づくり
  - ・利用者を登録制とし、中高生に対して助言や見守りができる体制を整える。

### 2 施設・設備について

#### （1）レイアウトと設備

##### A 多目的室1：みんなで楽しめる空間

- ・動画鑑賞やボードゲームができる部屋
- ・室内でのスポーツ活動に使えるスペース（卓球台など）。
- ・ダンスやストレッチに適した床面と、鏡面を備えたスペース。

##### B 多目的室2：落ち着いて過ごせる空間

- ・中高生がリラックスできるような椅子やクッションを配置し、居心地がよい部屋。
- ・机や椅子を配置し、みんなで集まってクリエイティブな作業ができるスペース。

## (2) 活動しやすく快適な空間づくり

- ・Wi-Fi 接続と多目的利用
- ・天候の良い日にはオープンテラススペースも活用する。

## 3 実施を検討する事業等

- ・サークル活動（曜日毎、いずれは自主グループ化を目指す。）
- ・公民館利用団体や地域の人材による講座プログラム
- ・他部署と連携し、ワークショップを行うなど、学校ではできない体験を提供

## 4 公民館運営審議会からの提言

以下、3点について提言する。

- ① 中高生のみで組織された団体の利用団体登録を認めることを検討すること。
- ② 狛江の中学生の進学先は、都立狛江高等学校に限らず都内広範にわたっているため、高校に進学しても引き続き公民館を利用してもらえるように中学生のうちから公民館利用について働きかけをしてほしいと考える。例えば、協力者を募って高校進学後も、SNSによりイベント情報を発信してもらおう等、工夫をすること。
- ③ ユースワーカーの配置又は派遣について、市長部局と連携して実行してもらいたい。なお、準備期間として、公民館事業として若者による「ティーンズ・プロジェクト運営委員会（仮称）」を設置し、ティーンズルームの活用を含め若者への公民館利用を促す仕組みを検討すること。加えて、学習サポートプロジェクトのように、ティーンズルームの運営を支える大人のボランティアスタッフの存在も必要不可欠であると考えます。

## 検討過程等

### ■検討スケジュール

審議会	日時	主な議題等
令和5年度 第6回	10月24日(火)	市民センター改修等に関する情報共有
第7回	11月28日(火)	諮問諮問に関する検討(フリーディスカッション)
第8回	12月26日(火)	諮問に関する検討(課題の整理)
第9回	2月13日(火)	諮問に関する検討(武蔵野プレイス視察)
第10回	3月12日(火)	諮問に関する検討(b-lab現地視察)
令和6年度 第1回	4月30日(火)	諮問に関する検討
第2回	5月28日(火)	諮問に関する検討
第3回	6月25日(火)	諮問に関する検討
第4回	7月23日(火)	答申案の取りまとめ
第5回	8月27日(火)	答申案の修正
第6回	9月24日(火)	答申案の修正
第7回	10月 日( )	答申の確定

### 狛江市立公民館運営審議会委員名簿(敬称略)

役割等	選出区分	氏名
委員長	社会教育関係者	齋藤 謙一
副委員長	公募	都築 完
委員	学識経験者	長岡 智寿子
委員	家庭教育関係者	内海 貴美
委員	学校教育関係者	岩瀬 敏郎(令和6年3月まで)
委員	学校教育関係者	設楽 知(令和6年5月~)
委員	公募	天野 泰子
委員	公募	伊勢亀 慎司
委員	公募	伊東 達夫
委員	公募	細谷 明美